

ローカル鉄道



全線運休が続くJR美祢線の線路

＝6月、山口県美祢市

29道府県の知事要望書

地域の人口減少で利用客が落ち込んだローカル鉄道が存続の危機に立たされている。バス転換も視野に入れる鉄道事業者側に対し、沿線自治体は「地域社会の衰退につながる」と鉄道存続を主張。着地点は見いだせない。地方からは、ローカル鉄道の維持に国が責任を果たすべきだとの声が上がりが始まった。

存続へ「国は責任を」

山口県の山間部を走るJR美祢線。2023年夏の豪雨で橋が崩落するなどして全線運休したまま、JR西日本や沿線自治体、地元経済界との間で議論が続く。美祢市商工会の末岡電夫事務局長(61)は「鉄道での復旧が難しいのは分かるが、廃線だと駅前の衰退が進む」と懸念する。

被災前から利用は低迷していた。1駅当たりの1日平均乗客数(輸送密度)は、JR西が発足した1987年度に1741人だった。2022年度は377人まで減少。JR西はバス

高速輸送システム(BRT)への転換が「望ましい」と指摘する。美祢市の篠田洋司市長は、鉄道維持を前提としつつ「BRTも選択肢の一つ」と揺れる。

交通手段の早期再開だけを優先すれば廃線は決定的。しかしそれで沿線のにぎわいは戻るのか。末岡さんは「人口が少ない地方の交通インフラが後回しにされているのでは」と疑問を投げかける。「国やJRは、持続可能な地域交通の仕組みづくりを進めてほしい」

山形県と新潟県を結ぶJR米坂線も、22年豪雨で被災した一部区間が不通のまま再開のめどが立たない。吉村美栄子山形県知事は「住民の暮らしを支える不可欠な路線」と早期復旧を訴えるが、JR東日本との協議は長期化の様相だ。

危機感を強めた自治体側は今年4月、広島など29道府県の知事が連名で、ローカル鉄道の維持に国が責任を持つよう求める要望書を石破茂首相に提出した。全国的な鉄道ネットワークを

「重要な社会インフラ」と位置付け、財政負担を含め、国の積極関与を求める内容だ。首相はこの時、地方との話し合いの場を設けると応じたが、会合は今も開催されていない。

各地で鉄道存続を模索する中、自治体が先手を打ったケースもある。

富山県では29年をめどに、

沿線の高岡市の担当者は「行政の枠を超え、沿線自治体と交通事業者が連携できた。(ローカル線は)人口減少と赤字経営で先細りのイメージを持たれるが、両路線は利便性も改善し、現状より格段に良くなる」と自信を込めて話した。

【問1】空欄に入る見出しとして最も適当なものを次のア～エから選びましょう。 (ウ)

ア. 復興の兆し イ. 利便性拡大 ウ. 廃線の危機 エ. 被災多発

【問2】 山口県の J R 美祢線の状況としてあてはまるものを、次のア～エから二つ選びましょう。

(ア、イ)

ア 2022 年度の 1 キロ当たりの 1 日平均乗客数は、1987 年度の 4 分の 1 以下に減少した

イ 2023 年の豪雨災害から全線運休している

ウ 国の財政負担を得て再整備されたことで沿線人口が増えた

エ バス高速輸送システムに転換され、沿線住民の交通手段が確保された

【問3】ローカル線の存続に危機感を強めた自治体の県知事は、連名で誰にどのような要望書を提出しましたか。

誰に (石破茂首相) 要望の内容 (ローカル鉄道の維持に国が責任を持つこと)

【問4】 富山県西部を走る J R 西日本の城端線と氷見線の経営は、地元自治体が議論を主導したことでどのように変わりますか。「国」「県」という語句を使って答えましょう。

(国の財政支援を得て、県の第三セクターに移管される)

【調べてみよう】 鹿児島県内には、どのようなローカル線がありますか。それらの事業者や沿線自治体が存続に向けてどのような工夫をしているか調べてみよう。

* 習っていない漢字のよみがなや難しい用字用語の解説

存続 (そん・ぞく) = なくならないで続いていること。	選択肢 (せん・たく・し) = 選べるように用意された
転換 (てん・かん) = 方向や方針などをかえること。	いくつかの答え。 揺 (ゆ) れる 戻 (もど) る
気持ちなどを変えること。	訴 (うった) える 様相 (よう・そう) = ありさま。
衰退 (すい・たい) = 勢いを失い、だめになること。	状態。 連名 (れん・めい) = 何人かの名前を並べ
維持 (い・じ) = そのままの状態を維持すること。	て書くこと。 含 (ふく) め 開催 (かい・さい)
崩落 (ほう・らく) = 崩 (くず) れ落ちること。	模索 (も・さく) = 手さぐりで探すこと。状況が不明
廃線 (はい・せん) = 交通路線や通信線などの使用を	な中でいろいろ試みてみること。てさぐり。
廃止すること。またはその交通路線や通信線。	移管 (い・かん) = 管轄 (かん・かつ) を変えること。
被災 (ひ・さい) = 大水・火事・地震・戦争などの災難	ある官庁から他の官庁に管轄を移すこと。
にあうこと。	見越 (み・こ) した 支援 (し・えん) 枠 (わく)
指摘 (し・てき) = まちがいや大切なところなどを見	連携 (れん・けい) = 互いに連絡し合いながら、いっ
つけ出して、示すこと。	しょにものごとをすること。 込 (こ) めて